

北海道大学ホームカミングデー2015 水産学部卒業生のつどい

平成27年9月26日（土）に北海道大学百年記念会館大会議室において、「北海道大学ホームカミングデー2015 水産学部卒業生のつどい」がおこなわれました。講師として東京海洋大学教授・加藤秀弘先生（昭50ゾ）をお招きし、「鯨類が目指す二つの道」のタイトルで一般講演会が開催されました。講演会には同窓生と現役学部学生を含め約50名の方が来場されました。加藤先生は、ご自分がどのような経緯で鯨類研究の道に進んだのか、北大の学生時代から今に至るまでのご経験を紹介することから講演をお始めになり、「第4のひれ（腹びれ）」を持つイルカ（はるか）を材料とした最新の鯨類進化に関する研究（腹びれは鯨類が進化の過程で失った後ろ脚だとのこと）などを多数の写真とともにわかりやすく紹介してくださいました。自分が興味を持った鯨類研究を続けるために常にアクティブかつ積極的であった加藤先生の姿勢は、研究者をめざす学生にとって大変参考になったのではないかと思われます。講演後には「付録：混迷する国際捕鯨情勢」と題して、国際捕鯨委員会の最近の動向に関する一般のニュースでは知りえない裏話も説明していただきました。講演会終了後には、学生と加藤先生が自然と輪をつくってディスカッションをするという状態になりました。後輩学生の質問に対して丁寧に説明されておられる加藤先生の姿を見し、「同窓のつどい」の何とも言えない温かな雰囲気を味わうことができました。



安井研究院長ご挨拶

横山北水同窓会長ご挨拶



ご講演中の加藤先生

講演に聞き入る参加者